

令和7年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・4年生は、観察や実験などに関する基本的な技能を身に付けることができていたことで、知識・技能においての正答率が高まった。
- ・5年生は、これまでの植物を育てた経験から、「1年間の植物の成長」についての要点を押さえることができており、目標値を超える正答率となった。
- ・6年生は、ICTを活用して、観察・実験を繰り返し確認したり、友達の考えを共有し合ったりする活動を通して知識や技能への理解が深まり、目標値との差が前年度に比べて縮まった。

(2) 課題

- ・基礎的な知識・技能の定着に課題がある。
- ・基礎的な知識を活用した分析・応用の力に課題がある。生活に関連付けて考えることができていないため、普段の生活から関連させて考えさせる活動を取り入れる必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	-0.4		
第5学年	-7.5	-9.4 (第4学年時)	
第6学年	-9.1	-10.3 (第5学年時)	-7.1 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値とおおむね等しい正答率である。特に虫眼鏡の使い方や観察カードの記入の仕方などについてはよく理解できている。	どの単元も目標値よりもやや低い正答率である。特に、「じしゃくのせいしつ」の単元に課題があり、思考力を問われる問題の正答率が低い。	植物や動物に対する興味・関心が高く、意欲的に観察に取り組むことができている。日常と関連付けて考えることに課題がある。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5, 6年ともに目標値よりも低い正答率である。基礎的な知識を問われている問題での正答率が低い。どの分野も基礎的な知識・技能の定着に課題がある。	5, 6年ともに目標値よりも低い正答率である。実験の結果を基に説明をする問題での正答率が低い。論理的に順序だてて記述することで積み重ねる必要がある。	観察や実験に対する意欲は大変高い。実験後には予想と結果を比べたり、考察をしたりすることができている。しかし、既習事項を応用したり生活と関連付けて考えたりすることに課題がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・観察、実験などに関する知識や技能を身に付けさせるために、実験の前には、観察、実験の手順や方法について丁寧に確認をし、繰り返し行うようにする。 ・生活科との関連や系統性について伝え、つながりを意識しながら学習に取り組むことができるようにする。	・自然の事物・現象から見出した問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を考えさせる発問を行う。また、実験を通して比較する際にも、実験結果や既習事項を根拠として比較することができるように指導する。	・問題解決の過程の中で、身近な生き物を観察する際に対象を多角的に見たり、比較して共通点や相違点を見付けたり、予想を立てて検証するといった「理科の見方・考え方」を働かせ、問題を追究していくという理科の学習の仕方を、身に付けさせる。 ・実生活と関連付け、疑問をもち、知りたいという意欲に結び付ける。 ・植物や昆虫を育てる等の体験活動を充実させ、計画したことを状況に合わせて見直し、粘り強く取り組む機会を充実させる。

（2）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・知識・技能の定着を図るために、毎時間、授業の最初に前時の復習を行う。また、既習単元との関連や他教科との系統性をその都度伝え、つながりを意識させる。 ・まとめや学習感想ではキーワードや要点を取り上げ、児童の理解が深められるようにする。 ・実験計画を立て、どうすれば問題への予想に対する実験を行うことができるのか、「条件制御」の考え方から指導する。	・生活との関連を意識させながら考えさせるために、学習内容と身の回りのものとの関連を取り上げて、日常的に意識することができるようにしたり、気象情報に興味・関心をもたせ、自然災害等の内容に触れたりするようにする。また、洗濯や料理などで使われている水溶液や電気製品について取り上げることで日常での経験を想起することができる導入を行うようにする。	・実験の結果からどのようなことが言えるのかを既習事項や生活体験を根拠にして考察し、記述したり発表したりする機会を増やす。 ・実生活との関連を重視し、問題を取り上げ、自ら知りたい・調べたいことを決めさせ、目標を立てさせるようにする。様々な事象を自分事として考えられるようにする。